

SDGsの推進に向けた 大阪府の取組みについて



OSAKA SDGs

2025年9月

大阪府 政策企画部 企画室

内 容

1. **SDGsとは**
2. **大阪とSDGs**
3. **SDGsに取り組む際のポイント**
4. **みんなで行おうSDGs**



内 容

- 1. SDGsとは**
2. 大阪とSDGs
3. SDGsに取り組む際のポイント
4. みんなで取組もうSDGs



SDGs (Sustainable Development Goals) とは

- 2015年9月国連サミットで加盟国全会一致で採択された

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された**2030年**までの国際目標。

- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール (目標)**、**169のターゲット**から構成。
- 地球上の**「誰一人取り残さない (leave no one behind) 」**ことを誓っている。

発展途上国のみならず、先進国自身も取り組むもの。



SDGs (Sustainable Development Goals) とは

2015年9月25日第70回国連総会で採択

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（抜粋）

仮訳

前文

このアジェンダは、人間 (people)、地球 (planet) 及び 繁栄 (prosperity) のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な 平和 (peace) の強化を追求ものでもある。我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的な パートナーシップ (partnership) の下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。

①

今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。

これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。

③

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。

これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、向こう15年間にわたり、行動を促進するものになる。

（出典：国際連合広報センター）

②

**将来世代のニーズを損なうことなく
現在の世代のニーズを満たすこと**

「ブルントラント報告」（国連環境と開発に関する世界委員会、1987年）

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

(出典) 外務省 「持続可能な開発のための2030アジェンダ(仮訳)」

SDGsの17のゴール（5つのP）

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを 	

12 つくる責任つかう責任 		
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に



SDGsの世界観(The New Division社のSDGsマニフェスト)

2030年の世界

Imagine a different world

想像してみてください、今とは違う世界を

この世界には、**貧困も飢餓もありません。**

すべての人が健康と福祉を手にしています。

質の高い教育はジェンダー平等の社会を導きました。

世界の人々に**安全な水**と持続可能な**エネルギー**が行き渡り

持続可能な発展を後押ししています。

働きがいと経済成長によって安定した社会となり

持続可能な**産業と技術革新**への投資に転換したおかげで

国の不平等がなくなりました。

誰もが持続可能な**街やコミュニティ**に住み

つくる責任とつかう責任は、**気候変動防止**に貢献しています。

海の豊かさの保護と**陸の生物多様性**で

地球上のすべての命が豊かになりました。

地球上のすべての人々が**ついに平和で公平な社会**に生き、

グローバルなパートナーシップが大切な役割を担っています。

「出典:The New Division、(株)ワンプラネット・カフェ訳」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



3.1	2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。
3.2	すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。
3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
3.4	2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
3.6	2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
3.7	2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
3.8	すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
3.9	2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
3.a	すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
3.b	主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特にすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。
3.c	開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。
3.d	すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

SDGsは、折り返し地点を過ぎました。 SDGsの進捗状況はどうでしょうか？



SDGsの目標のうち軌道にのっている割合は？

A) 18%

B) 26%

C) 52%

SDGsの達成状況

SDGsのターゲットのうち、現時点で達成に向けた軌道に乗っているのは**わずか18%**であり、半数近くは進捗があまりにも遅く、**18%**は後退。

The Sustainable Development Goals Report 2025

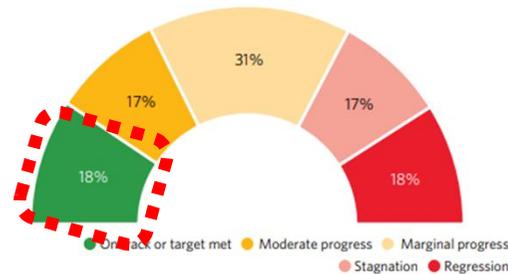


2025年7月に公表された
「The Sustainable Development Goals Report 2025」

I. Five years to go: the stark reality of SDG progress

The 2025 progress assessment reveals that the world remains far off track from achieving the 2030 Agenda. Of the 169 SDG targets, 139 could be assessed using global trend data from the 2015 baseline to the most recent year, supplemented by custodian agency analyses. Among these, only 35 per cent show adequate progress – 18 per cent are on track and 17 per cent are making moderate progress. In contrast, 48 per cent of targets show insufficient progress, including 31 per cent with only marginal gains and 17 per cent with no progress at all. Most concerning, 18 per cent of targets have regressed below 2015 baseline levels.¹

Overall progress across targets based on 2015-2025 global aggregate data

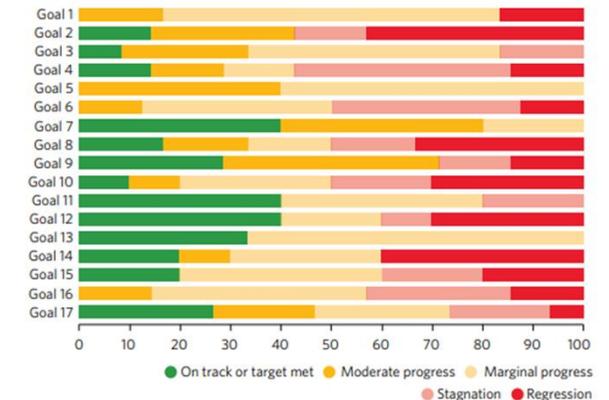


Note: Percentages do not add up to 100 per cent due to rounding.

This comprehensive assessment underscores the urgent need for intensified efforts to put the SDGs on course. A detailed breakdown of progress by target is available at the end of this report.

While this report focuses on global trends, the global averages may mask meaningful advances in many countries that have made substantial progress across several Goals. These national and local successes – driven by sound policies, strong institutions and inclusive partnerships – demonstrate that accelerated progress is possible and offer valuable pathways for others to follow.

Progress assessment for the 17 Goals based on assessed targets, by Goal (percentage)



出典：「The Sustainable Development Goals Report 2025」

SDGsの達成状況（世界との比較）

2021年			2022年			2023年			2024年			2025年		
順位	国名	スコア												
1	フィンランド	85.9	1	フィンランド	86.5	1	フィンランド	86.8	1	フィンランド	86.4	1	フィンランド	87.0
2	スウェーデン	85.6	2	デンマーク	85.6	2	スウェーデン	86.0	2	スウェーデン	85.7	2	スウェーデン	85.7
3	デンマーク	84.9	3	スウェーデン	85.2	3	デンマーク	85.7	3	デンマーク	85.0	3	デンマーク	85.3
4	ドイツ	82.5	4	ノルウェー	82.3	4	ドイツ	83.4	4	ドイツ	83.5	4	ドイツ	83.7
5	ベルギー	82.2	5	オーストリア	82.3	5	オーストリア	82.3	5	フランス	82.8	5	フランス	83.1
6	オーストリア	82.1	6	ドイツ	82.2	6	フランス	82.0	6	オーストリア	82.6	6	オーストリア	83.0
7	ノルウェー	82.0	7	フランス	81.2	7	ノルウェー	82.0	7	ノルウェー	82.2	7	ノルウェー	82.7
8	フランス	81.7	8	スイス	80.8	8	チェコ	81.9	8	クロアチア	82.2	8	クロアチア	82.4
9	スロベニア	81.6	9	アイルランド	80.7	9	ポーランド	81.8	9	イギリス	82.2	9	ポーランド	82.1
10	エストニア	81.6	10	エストニア	80.6	10	エストニア	81.7	10	ポーランド	81.7	10	チェコ	81.9
11	オランダ	81.6	11	イギリス	80.6	11	イギリス	81.7	11	スロベニア	81.3	11	イギリス	81.9
12	チェコ	81.4	12	ポーランド	80.5	12	クロアチア	81.5	12	チェコ	81.3	12	スロベニア	81.2
13	アイルランド	81.0	13	チェコ	80.5	13	スロベニア	81.0	13	ラトビア	81.0	13	ラトビア	81.2
14	クロアチア	80.4	14	ラトビア	80.3	14	ラトビア	80.7	14	スペイン	80.7	14	スペイン	81.0
15	ポーランド	80.2	15	スロバキア	80.0	15	スイス	80.5	15	エストニア	80.5	15	アイスランド	80.8
16	スイス	80.1	16	スペイン	79.9	16	スペイン	80.4	16	ポルトガル	80.2	16	スロバキア	80.8
17	イギリス	80.0	17	オランダ	79.9	17	アイルランド	80.1	17	ベルギー	80.0	17	エストニア	80.8
18	日本	79.8	18	ベルギー	79.7	18	ポルトガル	80.0	18	日本	79.9	18	ベルギー	80.7
19	スロバキア	79.6	19	日本	79.6	19	ベルギー	79.5	19	アイスランド	79.5	19	日本	80.7
20	スペイン	79.5	20	ポルトガル	79.2	20	オランダ	79.4	20	ハンガリー	79.5	20	ポルトガル	80.6
						21	日本	79.4						

【参考】日本のSDGsスコア

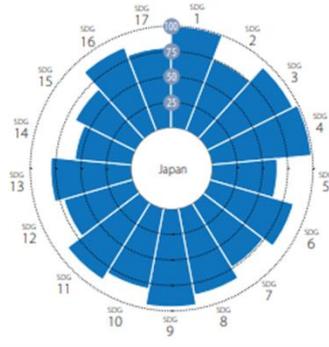
JAPAN

OECD Countries

Overall Performance



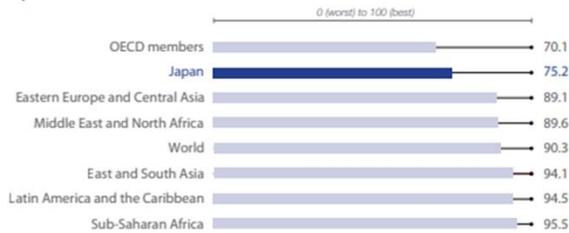
Average Performance by SDG



SDG Dashboard and Trends



International Spillover Index



Number of Voluntary National Reviews (VNRs)



*Progress (in percentage points) is based on a set of 17 headline SDG indicators. Please see the methodology section for details.

JAPAN

Performance by Indicator

Indicator	Value	Year	Rating	Trend
SDG1 – No Poverty				
Poverty headcount ratio at \$2.15/day (%)	0.4	2025	●	↑
Poverty headcount ratio at \$3.65/day (%)	0.5	2025	●	↑
Poverty rate after taxes and transfers (%)	15.4	2021	●	●
SDG2 – Zero Hunger				
Prevalence of undernourishment (%)	3.4	2022	●	→
Prevalence of stunting in children under 5 years of age (%)	7.1	2010	●	●
Prevalence of wasting in children under 5 years of age (%)	2.3	2010	●	●
Minimum dietary diversity among children aged 6–23 months (%)	90.0	2022	●	→
Prevalence of obesity, BMI ≥ 30 (% of adult population)	5.5	2022	●	→
Human Trophic Level (best 2–3 worst)	2.4	2022	●	↓
Cereal yield (tonnes per hectare of harvested land)	6.3	2022	●	↓
Sustainable Nitrogen Management Index (best 0–1.41 worst)	0.8	2018	●	↓
Yield gap closure (% of potential yield)	NA	NA	●	●
Exports of hazardous pesticides (tonnes per million population)	22.7	2022	●	●
SDG3 – Good Health and Well-Being				
Maternal mortality ratio (per 100,000 live births)	3.1	2023	●	↑
Neonatal mortality rate (per 1,000 live births)	0.8	2023	●	↑
Mortality rate, under-5 (per 1,000 live births)	2.4	2023	●	↑
Incidence of tuberculosis (per 100,000 population)	9.3	2023	●	●
New HIV infections (per 1,000 uninfected population, all ages)	NA	NA	●	●
Age-standardized death rate due to cardiovascular disease, cancer, diabetes, or chronic respiratory disease in adults aged 30 to 70 years (%)	8.0	2021	●	↑
Age-standardized death rate attributable to household air pollution and ambient air pollution (per 100,000 population)	12.0	2019	●	●
Traffic deaths (per 100,000 population)	2.7	2021	●	↑
Life expectancy at birth (years)	84.7	2023	●	↑
Adolescent fertility rate (births per 1,000 females aged 15 to 19)	2.0	2021	●	↑
Births attended by skilled health personnel (%)	99.8	2022	●	↑
Surviving infants who received 2 WHO-recommended vaccines (%)	94.0	2023	●	↑
Universal health coverage (UHC) index of service coverage (worst 0–100 best)	83.5	2021	●	↑
Subjective well-being (Leverage ladder score, worst 0–10 best)	6.1	2024	●	↑
Gap in life expectancy at birth among regions (years)	2.5	2020	●	↑
Gap in self-reported health status by income (percentage points)	16.5	2022	●	↑
Daily smokers (% of population aged 15 and over)	16.7	2019	●	●
SDG4 – Quality Education				
Participation rate in pre-primary organized learning (% of children aged 4 to 6)	97.1	2021	●	↑
Net primary enrollment rate (%)	99.9	2022	●	↑
Lower secondary completion rate (%)	NA	NA	●	●
Literacy rate (% of population aged 15 to 24)	100.0	2022	●	●
Tertiary educational attainment (% of population aged 25 to 34)	NA	NA	●	●
PISA score (worst 0–600 best)	532.7	2022	●	↑
Variation in mathematics performance explained by socio-economic status (%)	11.9	2022	●	↑
Underachievers in mathematics (% of 15-year-olds)	12.0	2022	●	↑
SDG5 – Gender Equality				
Demand for family planning satisfied by modern methods (% of females aged 15 to 49)	75.9	2024	●	↑
Ratio of female-to-male mean years of education received (%)	94.9	2022	●	↑
Ratio of female-to-male labor force participation rate (%)	77.2	2024	●	↑
Seats held by women in national parliament (%)	15.7	2025	●	↑
Gender wage-gap (% of male median wage)	22.0	2023	●	↑
SDG6 – Clean Water and Sanitation				
Population using at least basic drinking water services (%)	99.1	2022	●	↑
Population using at least basic sanitation services (%)	99.9	2022	●	↑
Freshwater withdrawal (% of available freshwater resources)	36.6	2022	●	↑
Anthropogenic wastewater that receives treatment (%)	80.6	2021	●	↑
Scarcie water consumption embodied in imports (m ³ H ₂ Oeq/capita)	1,825.9	2024	●	↑
Population using safely managed water services (%)	98.7	2022	●	↑
Population using safely managed sanitation services (%)	99.1	2022	●	↑
SDG7 – Affordable and Clean Energy				
Population with access to electricity (%)	100.0	2022	●	↑
Population with access to clean fuels and technology for cooking (%)	100.0	2022	●	↑
CO ₂ emissions from fuel combustion per total electricity output (MCO ₂ /TWh)	1.0	2023	●	↑
Renewable energy share in total final energy consumption (%)	8.8	2021	●	↑
SDG8 – Decent Work and Economic Growth				
Adjusted GDP growth index (worst 0–100 best)	59.7	2023	●	●
Victims of modern slavery (per 1,000 population)	1.1	2022	●	●
Adults with an account at a bank or other financial institution or with a mobile-money-service provider (% of population aged 15 or over)	98.5	2021	●	↑
Fundamental labor rights are effectively guaranteed (worst 0–1 best)	0.75	2023	●	↑
Fatal work-related accidents embodied in imports (per million population)	1.4	2018	●	↑
Victims of modern slavery embodied in imports (per 100,000 population)	40.5	2018	●	●
Employment-to-population ratio (%)	79.4	2024	●	↑
Youth not in employment, education or training (NEET) (% of population aged 15 to 24)	6.2	2022	●	↑
SDG9 – Industry, Innovation and Infrastructure				
Rural population with access to all-season roads (%)	100.0	2025	●	↑
Population using the internet (%)	87.0	2023	●	↑
Mobile broadband subscriptions (per 100 population)	249.1	2023	●	↑
Logistics Performance Index Infrastructure Score (worst 1–5 best)	4.2	2023	●	↑
The Times Higher Education Universities Ranking: Average score of top 3 universities (worst 0–100 best)	74.5	2025	●	↑
Articles published in academic journals (per 1,000 population)	1.0	2023	●	↑
Expenditure on research and development (% of GDP)	3.4	2022	●	↑
Total patent applications by applicant's origin (per million population)	3,360.3	2023	●	↑
Researchers (per 1,000 employed population)	10.3	2022	●	↑
Gap in internet access by income (percentage points)	NA	NA	●	●
Female share of graduates from STEM fields at the tertiary level (%)	18.0	2022	●	↑
SDG10 – Reduced Inequalities				
Gini coefficient	32.9	2013	●	●
Palma ratio	1.3	2021	●	●
Elderly poverty rate (% of population aged 65 or over)	20.0	2021	●	●
SDG11 – Sustainable Cities and Communities				
Proportion of urban population living in slums (%)	0.0	2022	●	↑
Annual mean concentration of PM _{2.5} (µg/m ³)	11.7	2023	●	↓
Access to improved water source, piped (% of urban population)	NA	NA	●	●
Population with rent overburden (%)	19.0	2021	●	●
Urban population with access to points of interest within a 5min walk (%)	86.7	2025	●	●
Population with convenient access to public transport in cities (%)	72.5	2020	●	●
SDG12 – Responsible Consumption and Production				
Electronic waste that is not recycled (kg/capita)	16.3	2022	●	●
Production-based air pollution (DALYs per 1,000 population)	3.6	2024	●	↑
Air pollution associated with imports (DALYs per 1,000 population)	6.6	2024	●	↑
Production-based nitrogen emissions (kg/capita)	15.6	2024	●	↑
Nitrogen emissions associated with imports (kg/capita)	26.2	2024	●	↑
Exports of plastic waste (kg/capita)	5.4	2024	●	↑
Non-recycled municipal solid waste (kg/capita/day)	0.7	2021	●	↑
SDG13 – Climate Action				
CO ₂ emissions from fossil fuel combustion and cement production (tCO ₂ /capita)	8.0	2023	●	↑
GHG emissions embodied in imports (tCO ₂ /capita)	4.1	2024	●	↑
CO ₂ emissions embodied in fossil fuel exports (tonnes/capita)	0.0	2024	●	●
Carbon Pricing Score at EUR60/tCO ₂ (%, worst 0–100 best)	22.9	2021	●	↑
SDG14 – Life Below Water				
Mean area that is protected in marine sites important to biodiversity (%)	66.5	2023	●	↑
Ocean Health Index: Clean Waters score (worst 0–100 best)	62.2	2024	●	↑
Fish caught from overexploited or collapsed stocks (% of total catch)	60.9	2018	●	↓
Fish caught by trawling or dredging (%)	19.6	2019	●	↓
Fish caught that are then discarded (%)	9.2	2019	●	↑
Marine biodiversity threats embodied in imports (per million population)	1.0	2018	●	↑
SDG15 – Life on Land				
Mean area that is protected in terrestrial sites important to biodiversity (%)	65.1	2023	●	↑
Mean area that is protected in freshwater sites important to biodiversity (%)	63.5	2023	●	↑
Red List Index of species survival (worst 0–1 best)	0.75	2023	●	↓
Permanent deforestation (% of forest area, 3-year average)	0.0	2023	●	●
Imported deforestation (m ² /capita)	19.9	2022	●	↑
SDG16 – Peace, Justice and Strong Institutions				
Homicides (per 100,000 population)	0.2	2022	●	↑
Crime is effectively controlled (worst 0–1 best)	0.93	2023	●	↑
Unserved detainees (% of prison population)	12.6	2022	●	↑
Birth registrations with civil authority (% of children under age 5)	100.0	2021	●	●
Corruption Perceptions Index (worst 0–100 best)	71.0	2024	●	↑
Children involved in child labor (%)	0.0	2021	●	●
Exports of major conventional weapons (TIV constant million USD per 100,000 population)	0.0	2024	●	●
Press Freedom Index (worst 0–100 best)	63.1	2025	●	↓
Access to and affordability of justice (worst 0–1 best)	0.65	2023	●	↑
Timeliness of administrative proceedings (worst 0–1 best)	0.76	2023	●	↑
Expropriations are lawful and adequately compensated (worst 0–1 best)	0.77	2023	●	↑
Persons held in prison (per 100,000 population)	33.5	2022	●	↑
SDG17 – Partnerships for the Goals				
Government spending on health and education (% of GDP)	13.1	2022	●	↑
For high-income and all OECD DAC countries: International concessional public finance, including official development assistance (% of GNI)	0.4	2024	●	●
Other countries: Government revenue excluding grants (% of GDP)	**	**	●	**
Corporate Tax Haven Score (best 0–100 worst)	0	2024	●	●
Financial Secrecy Score (best 0–100 worst)	63.1	2022	●	↓
Shifted profits of multinationals (US\$ billion)	0.0	2021	●	●
Statistical Performance Index (worst 0–100 best)	90.9	2023	●	↑
Index of countries' support to UN-based multilateralism (worst 0–100 best)	67.8	2025	●	↑

* Imputed data point, ** Not applicable
NA = Data not available

【参考】上位国のSDGsスコア

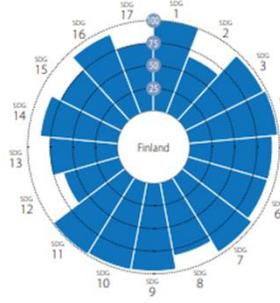
FINLAND

OECD Countries

Overall Performance



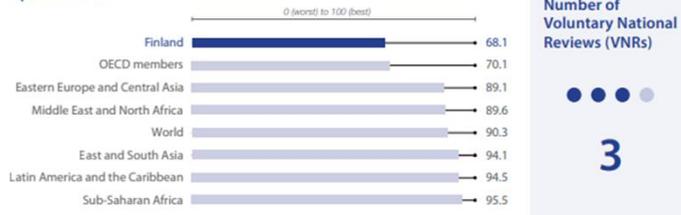
Average Performance by SDG



SDG Dashboard and Trends



International Spillover Index



*Progress (in percentage points) is based on a set of 17 headline SDG indicators. Please see the methodology section for details.

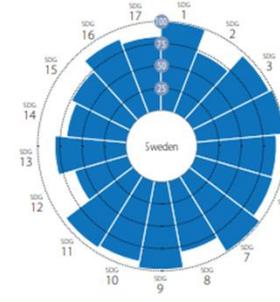
SWEDEN

OECD Countries

Overall Performance



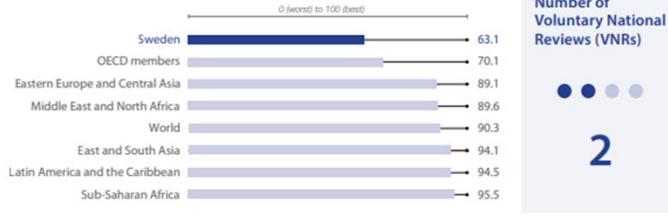
Average Performance by SDG



SDG Dashboard and Trends



International Spillover Index



*Progress (in percentage points) is based on a set of 17 headline SDG indicators. Please see the methodology section for details.

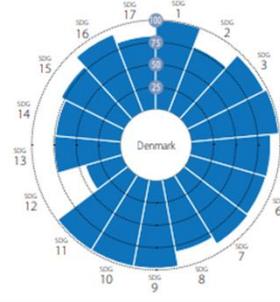
DENMARK

OECD Countries

Overall Performance



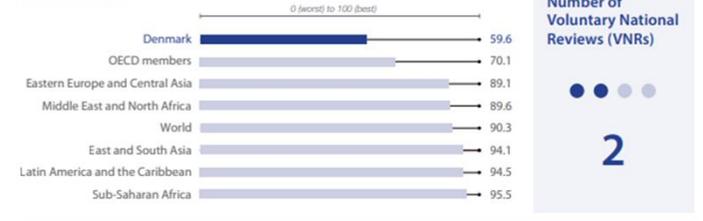
Average Performance by SDG



SDG Dashboard and Trends



International Spillover Index



*Progress (in percentage points) is based on a set of 17 headline SDG indicators. Please see the methodology section for details.

内 容

1. SDGsとは
- 2. 大阪とSDGs**
3. SDGsに取り組む際のポイント
4. みんなで取組もうSDGs



【参考】SDGsに関するこれまでの主な経過

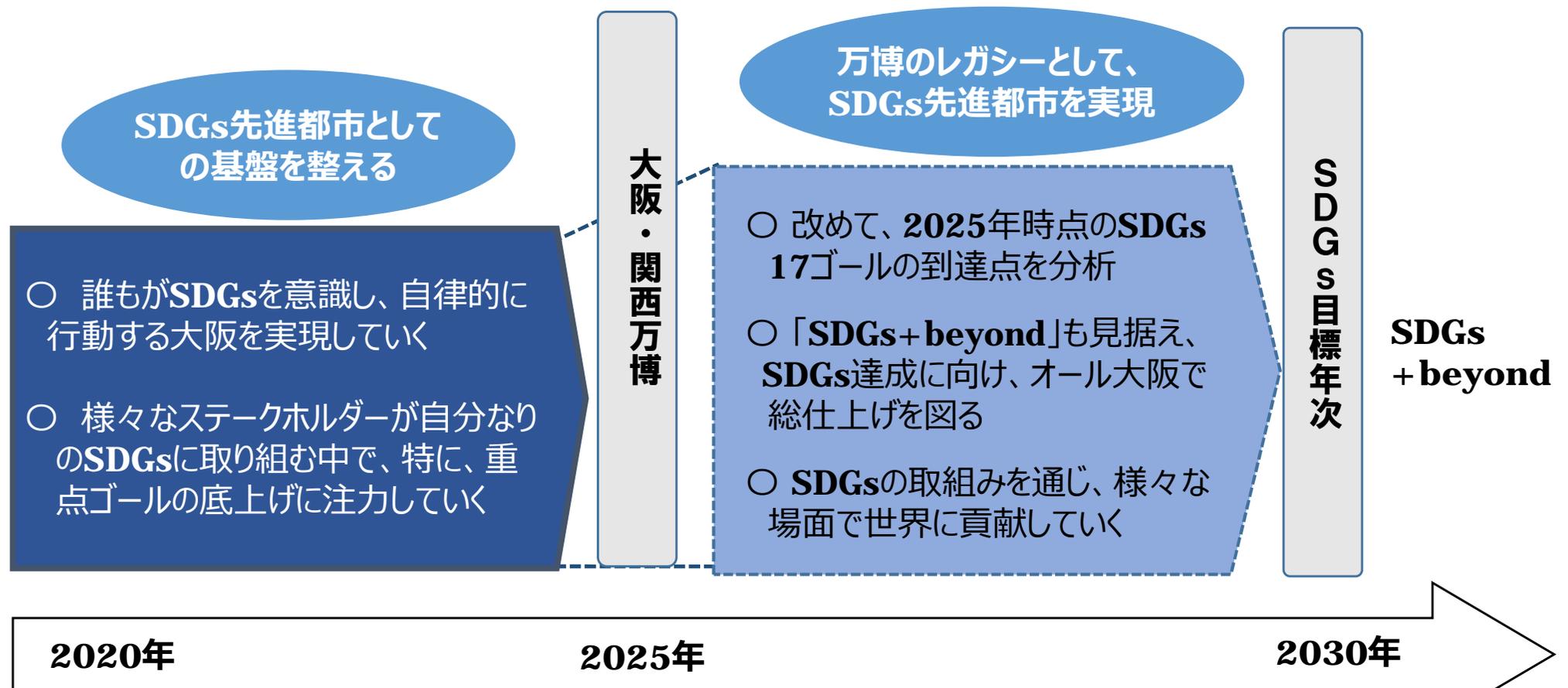
大阪府の取組み	国の動き	関連項目
<p>2018年4月 大阪府SDGs推進本部設置</p> <p>2020年3月 Osaka SDGs ビジョン策定</p> <p>2020年7月 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に採択 (大阪市と共同提案)</p> <p>2020年12月 大阪SDGsネットワーク設置</p> <p>2021年1月 大阪SDGs行動憲章策定</p> <p>2021年2月～ 私のSDGs宣言プロジェクト開始</p>	<p>2016年5月 SDGs推進本部設置</p> <p>2016年12月 SDGs実施指針策定</p> <p>2018年6月～ SDGs未来都市及び自治体・SDGsモデル事業の選定開始</p> <p>2018年6月 Japan SDGs Action Platform 設置</p> <p>2019年12月 SDGs実施指針改定</p>	<p>2015年9月 国連総会にてSDGsを採択</p> <p>2018年11月 大阪・関西万博開催決定</p>

府の役割

- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**
⇒ **SDGsの更なる浸透**を図り、これまでに**SDGsになじみのなかった新たなステークホルダーの掘り起こし**や具体的な行動につなげる
- ② 様々なステークホルダーの取組みを**SDGs実現に向けて相互につなぎ合わせていく**
⇒ **関西SDGsプラットフォームや国関連機関、経済界、金融機関などと連携し**、それぞれのネットワークを活かしながら、ステークホルダー間の**マッチングと新たな取組みの創出**を図る
- ③ **府自らも**ステークホルダーの一員として、**SDGsに貢献**する
⇒ 庁内各部局の**主体的な取組みの更なる充実・強化**を図り、**SDGsとして取り組むからこそできる**施策を幅広く展開していく
- ④ ハード・ソフト両面から**「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**
⇒ 大阪の持続的成長や、府民の豊かさ、安全・安心の実現に向け、**SDGsの理念に沿った社会システムや価値観の変革**を進める

2030年までの取組工程

- 万博に向け、「SDGs先進都市」としての基盤を整え、2030年のSDGs目標年次に向けた総仕上げを図る中で、万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現する。



Osaka SDGs ビジョン

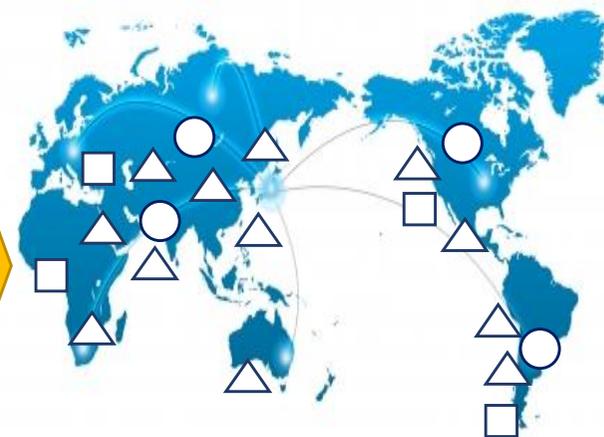
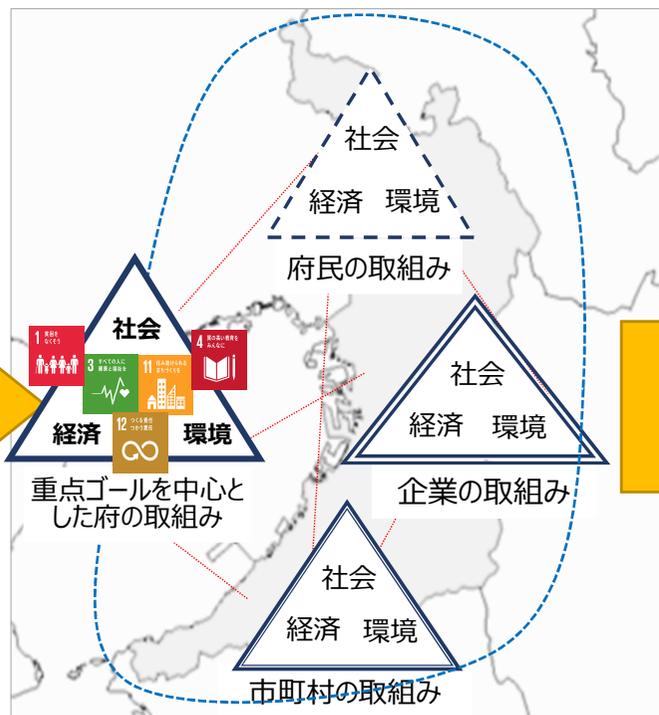
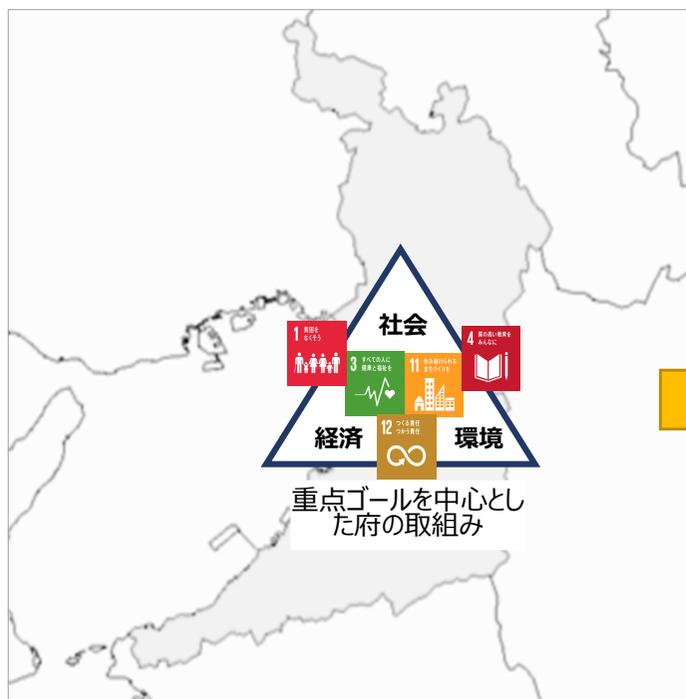
SDGs先進都市をめざして

SDGs先進都市 = 誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的に17のSDGs全ての達成をめざしていくこと

→様々なステークホルダーが連携・協調し、「大阪」がSDGsを体現したまちを発信していく

2025年

2030年



万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

- ◆ **テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン**
“Designing Future Society for Our Lives”
- ◆ **開催期間：2025年4月13日～10月13日**
- ◆ **開催場所：夢洲（大阪市臨海部）**
- ◆ **入場者（想定）：約2,800万人**
- ◆ **経済効果：約2兆円**

閉幕まで、
あと26日！



SDGs

将来像

SDGsが達成された社会

理念

- ◆ 誰一人取り残さない
- ◆ 将来世代のニーズを損なうことなく、今の世代のニーズを満たす

達成ポイント

先端技術を活用した社会課題の解決

特徴

持続可能な社会の実現に向け、世界の大胆な変革が必要となることを、全ての国連加盟国が採択
(人類の英知の結集)

目標年限

2030年

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

特徴

地球規模のさまざまな課題に取り組むために、
世界各地から英知を集める場

開催時期

2025年

OSAKA JAPAN SDGs Forum (SDGs全国フォーラム2025)

- **SDGs**の有識者や様々なステークホルダーとともに、**SDGs**の達成に向けて国内外の先進的な**SDGs**アクション等を共有し、**2030年以降のSDGsのその先 (SDGs + beyond)** について議論を深める機会として、万博会場内において「**OSAKA JAPAN SDGs Forum (SDGs全国フォーラム2025)**」を開催しました。

※SDGs全国フォーラム

- ・ **SDGs**達成に向けた取組みを全国に発信することを目的に、**2019**年度より都道府県が持ち回りで開催
- ・ 主催県がテーマを定め、全国の自治体と連携し、先進事例を集約・発信する機会
- ・ これまで、**2019**年神奈川県、**2020**年長野県、**2022**年滋賀県、**2024**年沖縄県で開催

開催概要

◆日時：令和7年9月5日（金）13：00～17：30

◆会場：EXPOホール「シャインハット」

◆コンセプト：「みんなの智恵をつなげて、世界を変えよう」

◆プログラム：

- ・ 障がいのある方を含む約**70**名と、プロダンサーによるダンスパフォーマンス
- ・ 慶應義塾大学大学院・蟹江憲史教授による基調講演
- ・ 「みんなで減**CO2**（ゲンコツ）プロジェクト」に参画する大阪府と民間企業によるパネルディスカッション
- ・ ユース世代による発表 他



内 容

1. SDGsとは
2. 大阪とSDGs
- 3. SDGsに取り組む際のポイント**
4. みんなで取組もうSDGs

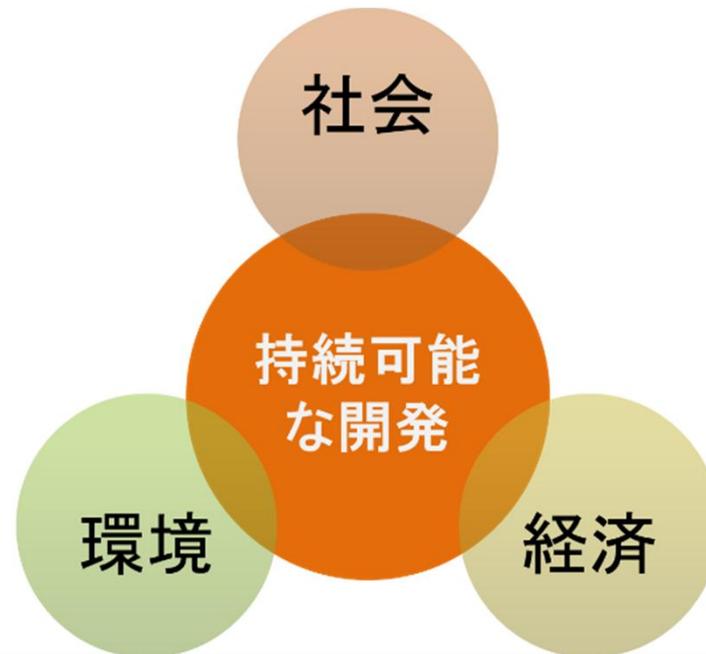


- ① **SDGs**は世界共通の言語
- ② 経済、社会、環境の統合的解決
- ③ 誰一人取り残さない
- ④ 横串の視点
- ⑤ バックカスティング
- ⑥ **SDGs**ウォッシュ

【SDGsのポイント①】SDGsは世界共通の言語

- 国連の全加盟国で合意。「誰も否定できない」明確な価値とゴールの提示。
- 17のゴールのアイコンは世界共通の言語。コミットしている社会課題を世界に宣誓。





○ **社会課題の併記**

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。
(「より良い社会」というより高次のビジョンの提示)

○ **経済的な視点の包摂**

「持続可能性」≡「経済性の担保」 ⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。
(ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容)



みんなで頑張る



社会的に弱い立場にある人々を含め、あらゆる人を、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

○ 野心的（背伸び）

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

○ 支えあいの精神

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（**region**）、国家、地方（**local**）、企業、教育機関、**NPO/NGO**、個人

⇒どんな人も必ず課題解決のアクターになりうる。

【SDGsのポイント④】横串の視点

○ 同時解決

(あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる)



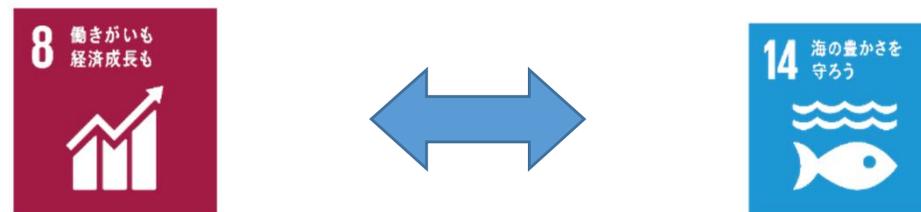
○ インパクトのベクトルを変える

(社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える)



○ トレードオフの考慮

(社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する)



【SDGsのポイント⑤】バックカスティング

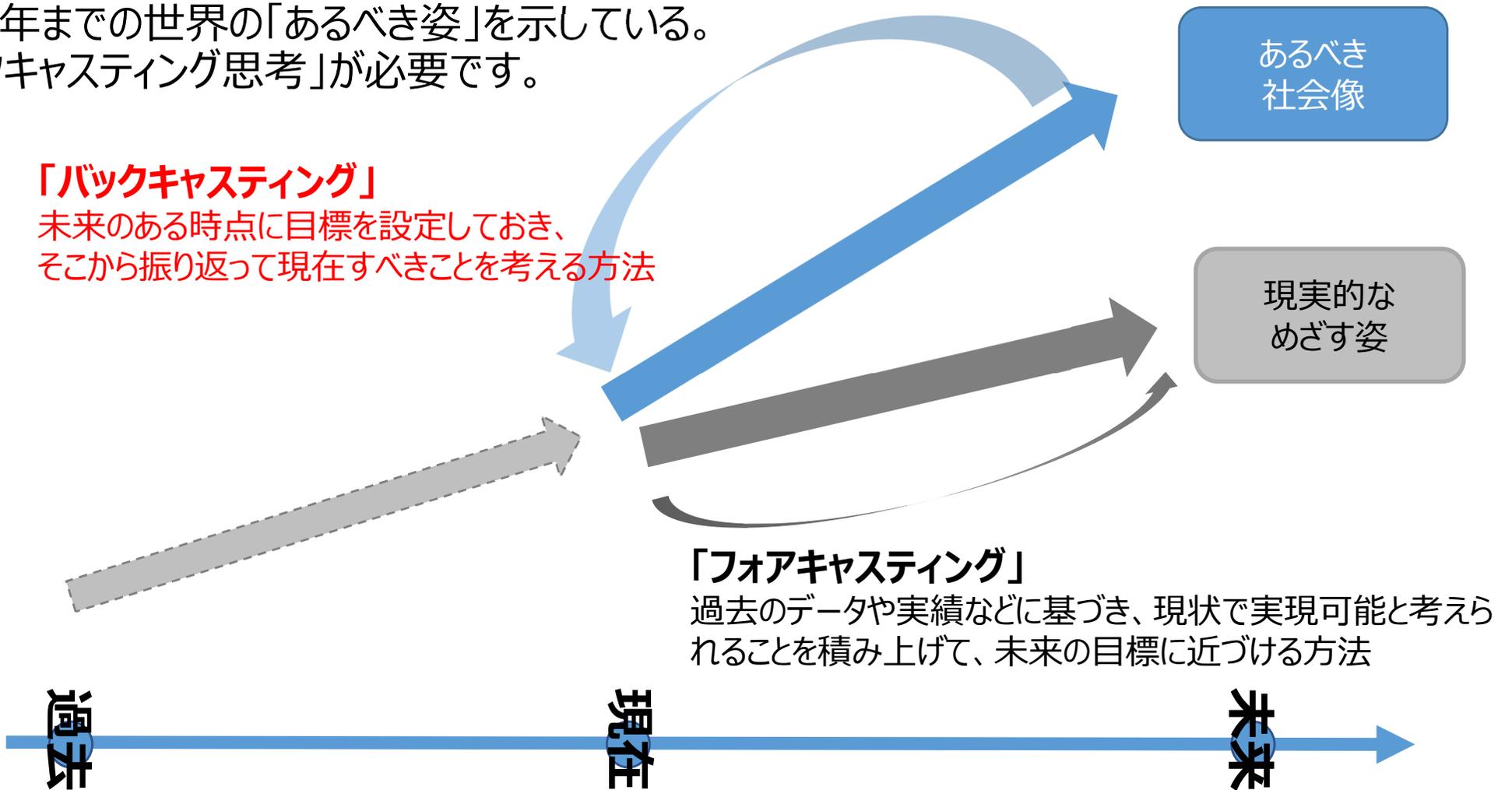
2030年までの世界の「あるべき姿」を示している。
「バックカスティング思考」が必要です。

「バックカスティング」

未来のある時点に目標を設定しておき、
そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアカスティング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づける方法



- **社会課題解決のイメージの変革**
義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発
- **できない言い訳をしない**
できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

(参考) バックカスティング(大谷選手が高1のときに作ったシート)

大谷 翔平 2010

8-8 体のケア	8-1 サリメント をのむ	8-2 FSQ 90kg	1-8 インストール改善	1-1 体幹強化	1-2 軸をのびか	2-8 角度を付ける	2-1 上からボール をたたく	2-2 リストの 強化
8-7 柔軟性	8-0 体づくり	8-3 RSQ 130kg	1-7 リストポイント の安定	1-0 コントロール	1-3 不安をなくす	2-7 力まない	2-0 キレ	2-3 下半身主導
8-6 スタミナ	8-5 可動域	食事 朝3杯	1-6 下肢の強化	1-5 体を開かぬ	1-4 メンタルコントロール をする	2-6 ボールを 前でリリース	2-5 回転数アップ	2-4 可動域
7-8 はっきりとした 目的をもつ	7-1 喜愛 しない	7-2 頭は冷静 心は熱く	8 体づくり	1 コントロール	2 キレ	3-8 軸でまわる	3-1 下肢の強化	3-2 体重増加
7-7 ピッチに 強い	7-0 メンタル	7-3 周囲気に 流されない	7 メンタル	7 テガラ1 8球団	3 スピード 160km/h	3-7 体幹強化	3-0 スピード 160km/h	3-3 肩周りの強化
7-6 波を すらない	7-5 勝利への 執念	7-4 仲間を 思いやる心	6 人間性	5 運	4 変化球	3-6 可動域	3-5 ライナー キャッチボール	3-4 ピッチング を増やす
6-8 感性	6-1 愛される人間	6-2 計画性	5-8 おしゃつ	5-1 ゴミ拾い	5-2 部屋を片づ	4-8 コントロール を増やす	4-1 フォーク完成	4-2 スライターの キレ
6-7 思いやり	6-0 人間性	6-3 感謝	5-7 道具を 大切に使う	5-0 運	5-3 審判さんへの 態度	4-7 遅く落差の あるカーブ	4-0 変化球	4-3 左打者への 決まり球
6-6 礼儀	6-5 信頼される人間	6-4 継続力	5-6 プラス思考	5-5 応援される 人間になる	5-4 本を読む	4-6 ストレートと同じ フォームで投げ	4-5 スライクから ボールに投 げるとコントロール	4-4 実行力を イメージ

出典：スポーツニッポン



「SDGsウォッシュ」とは？

⇒SDGsに取り組んでいるように見えて、実態が伴っていないことを揶揄する言葉



SDGsウォッシュは、「グリーンウォッシュ（あたかも環境にはいりよしているかのようにみせかけること）」が由来とされています

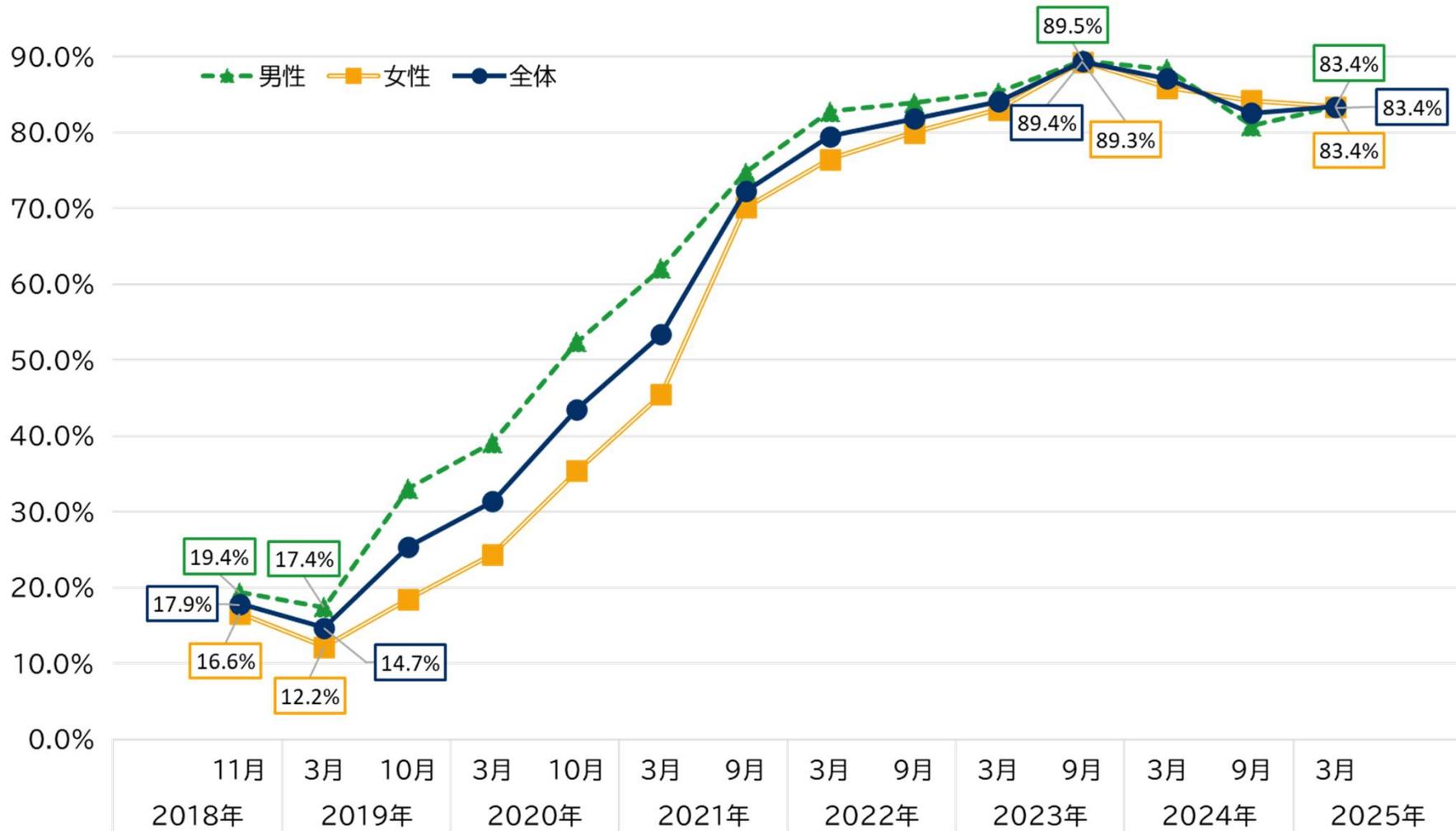
内 容

1. SDGsとは
2. 大阪とSDGs
3. SDGsに取り組む際のポイント
4. **みんなで取組もうSDGs**



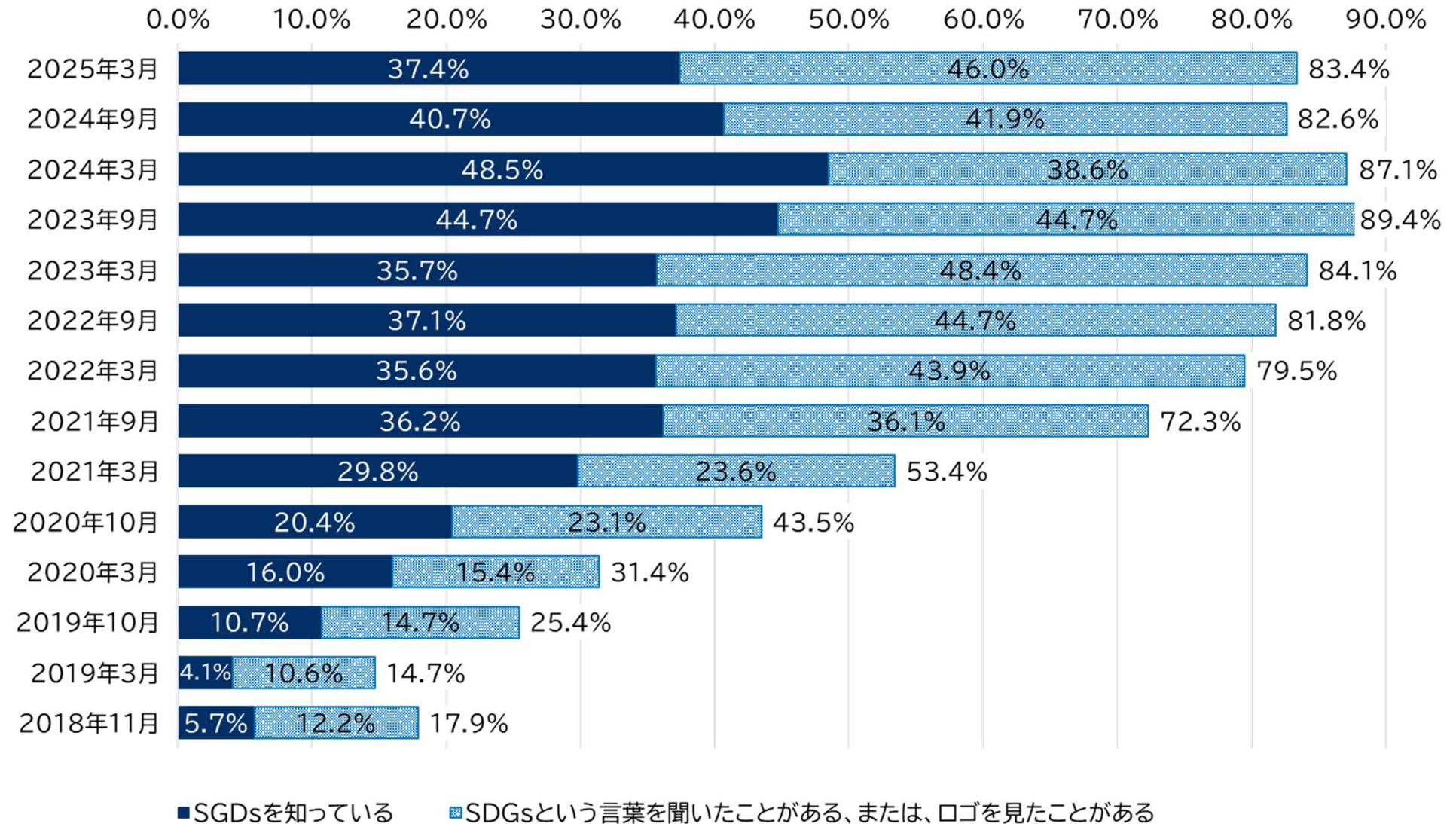
SDGs認知度（大阪）

府民全体の認知度は、83.4%。（2025年3月時点）



※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている。

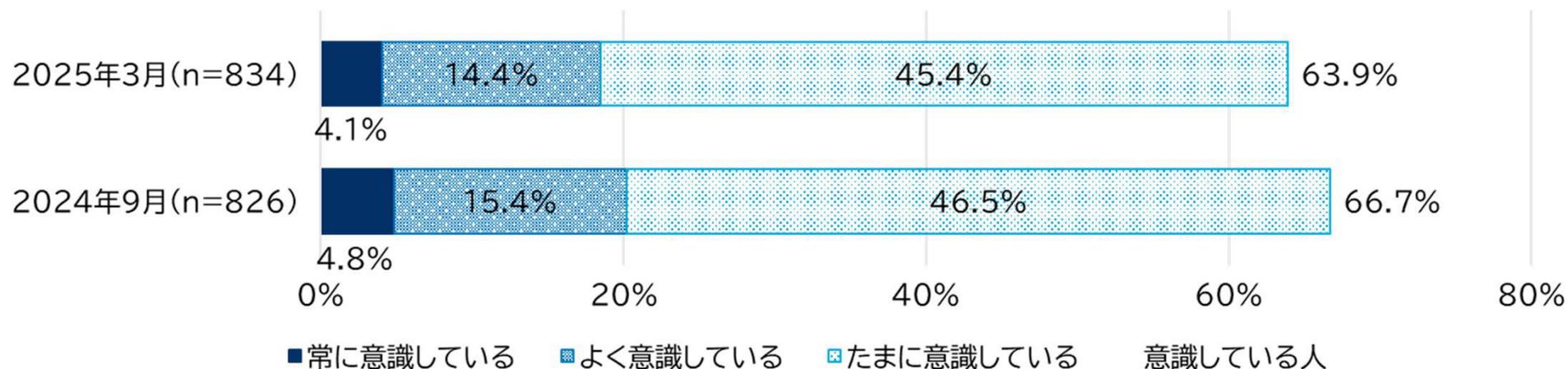
SDGs認知度（全体）



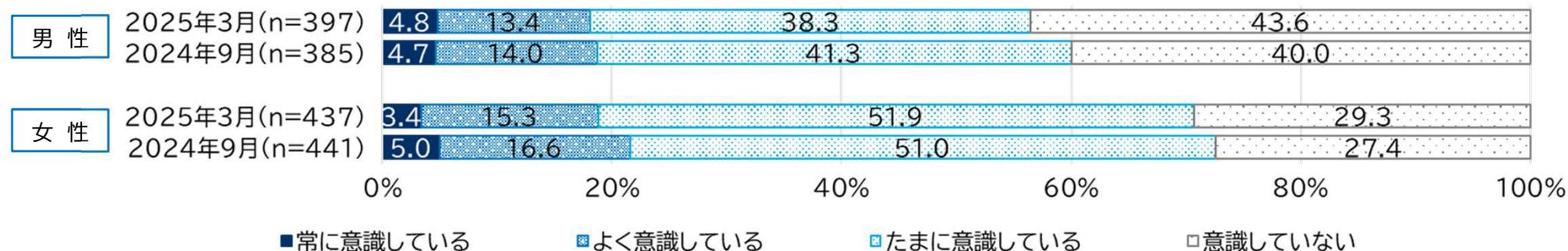
SDGsの意識度（大阪）

○「SDGsを知っている」と回答した方のうち、「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は、**63.9%**。

■SDGs意識度（全体）

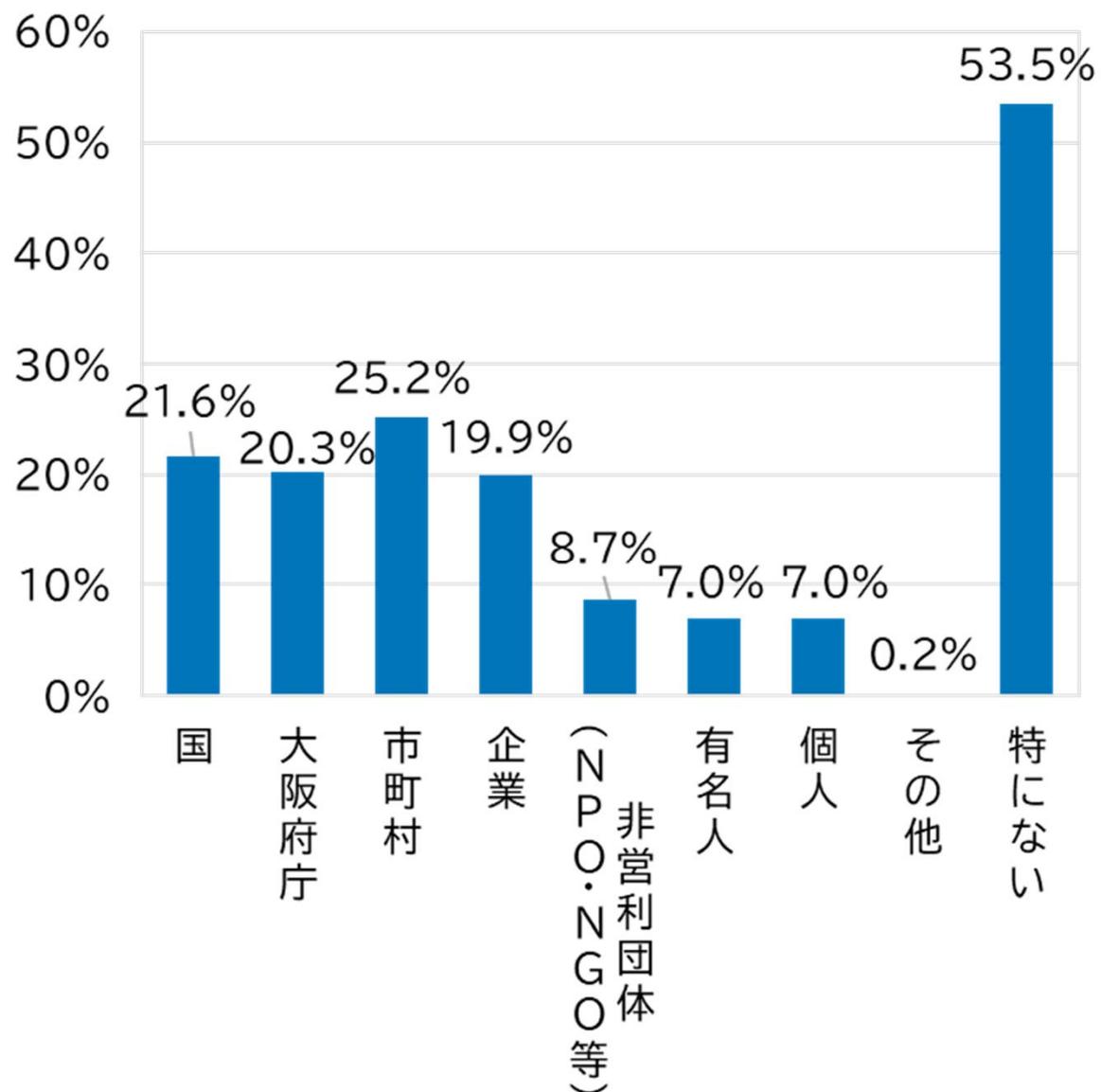


■SDGs意識度（性別）



どういった団体等が行う取組みに興味があるか

○どういった団体等が行う取組みについて興味があるかについては、「国」、「大阪府庁」、「市町村」、「企業」の割合が高い。



SDGsのゴールから、取り組めることを考える

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

2 飢餓を
ゼロに



世界



日本



SDGsのターゲットから、取り組めることを考える

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

3 すべての人に
健康と福祉を



3.1	2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。
3.2	すべての国が新生児死亡率を少なくとも出生1,000件中12件以下まで減らし、5歳以下死亡率を少なくとも出生1,000件中25件以下まで減らすことを目指し、2030年までに、新生児及び5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。
3.3	2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。
3.4	2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
3.5	薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
3.6	2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
3.7	2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。
3.8	すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
3.9	2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
3.a	すべての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。
3.b	主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特にすべての人々への医薬品のアクセス提供にかかわる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS協定）」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。
3.c	開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。
3.d	すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

【参考資料】「OSAKA S D G s データブック」

府内中小企業・団体などステークホルダーのSDGsアクションを後押しするため、大阪のSDGsに関するデータや事例をわかりやすくまとめたデータブックを作成しました。

メインターゲット | 企業のSDGs担当、NPOの代表者

SDGs担当等の悩み

- ✓ 何から取り組んだら良いかわからない
- ✓ 今取り組んでいる活動のままでいいか自信がない



データが「何をしたらいいか」のヒントを与え
「なぜその活動をするのか」を後押しする

データブックの構成と使用イメージ

データブックは、[ゴール一覧][データ一覧][事例集]で構成
(使い方のイメージ)

- ・企業理念等に近い**ゴール**から考えていく
- ・業界・事業活動に関連する**データ**から考えていく
- ・**事例集**を参考に考えていく



こちらより確認できます



(再掲) 【SDGsのポイント⑤】バックキャストイング

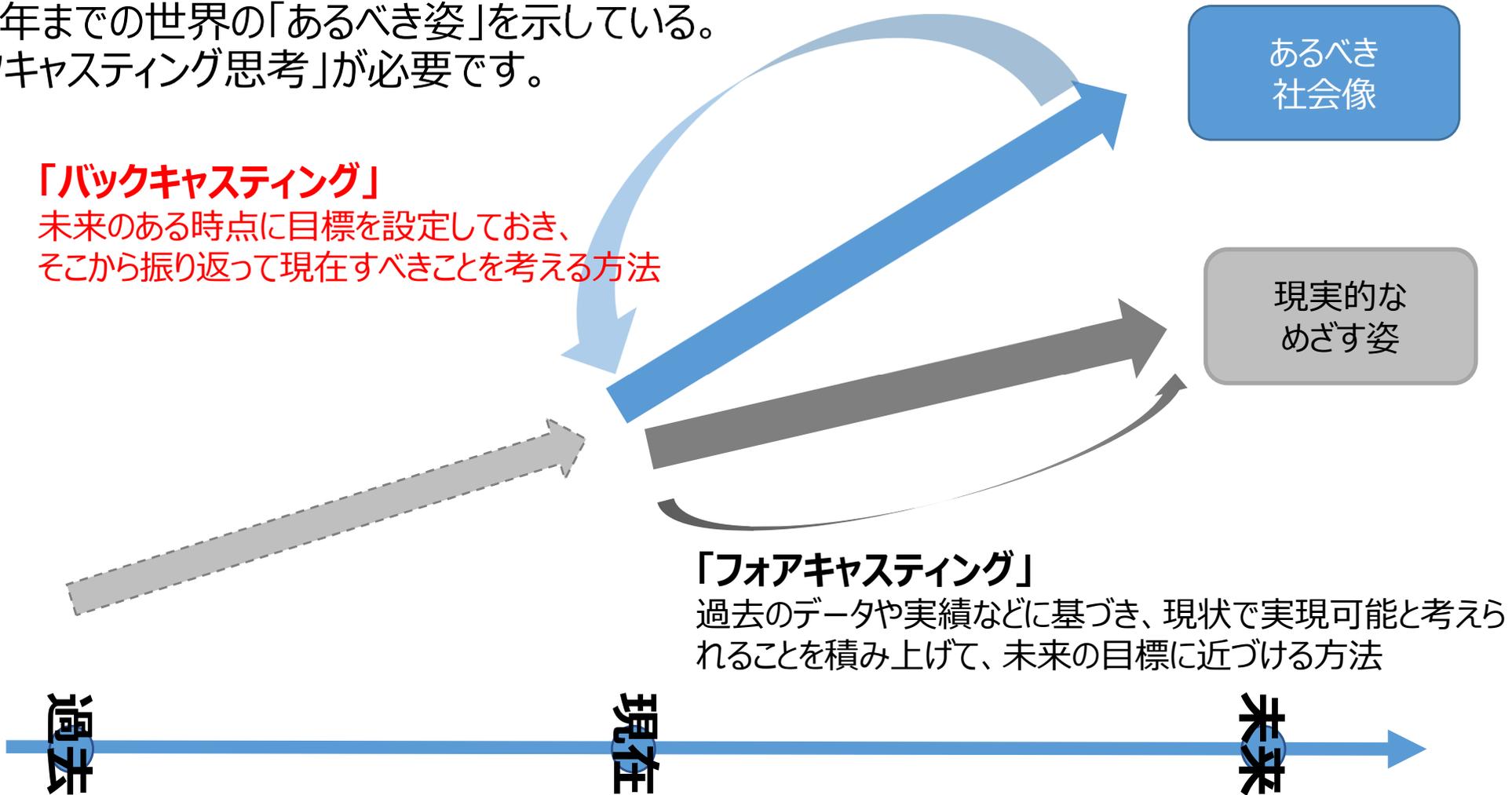
2030年までの世界の「あるべき姿」を示している。
「バックキャストイング思考」が必要です。

「バックキャストイング」

未来のある時点に目標を設定しておき、
そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャストイング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づける方法



- **社会課題解決のイメージの変革**
義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発
- **できない言い訳をしない**
できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

「大阪SDGs行動憲章」（令和3年1月策定）

府民や府内企業・団体など、あらゆるステークホルダーにSDGsを知ってもらい、自分事化していただくために策定。

わたしたちは、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」をめざす“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（SDGs）の理念に賛同し、2025年大阪・関西万博の地元都市として、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGsの17ゴールの達成をめざします。

- ① かけがえのない“いのち”を大切に、地域社会や環境に配慮して行動します。
- ② 2030年に住みたい魅力あふれる大阪をイメージし、できることから意識して行動します。
- ③ 人と人との出会い、つながりを大事にしながら、互いに学びあい協力して行動します。



「私のSDGs宣言プロジェクト」(令和3年2月開始)



みんなで参加しよう!
私のSDGs宣言プロジェクト



私のSDGs宣言プロジェクトへの参加方法

大阪府SDGs公式X

- @osakaprefSDGs をフォロー
- #私のSDGs宣言プロジェクト をつけて参加してね!



大阪府行政オンラインシステム

大阪府 SDGs で検索!



取り組み宣言の例

12 つくる責任
つかう責任



冷蔵庫の中を把握して、
必要な分だけ買い足す



14 海の豊かさを
守ろう



エコバッグやマイボトル、
マイ容器を使う



SDGs宣言を考えるにあたってのポイント

STEP 1

自分が思い描く「理想の世界または理想の大阪の姿」を考える

STEP 2

理想の姿を実現するために、自分ができていることを考える = SDGs宣言

STEP 3

考えた行動がどのゴールにプラスの影響を与えそうかを考える

👉「同時解決の視点（22 p）」で考えてみましょう

同時解決の視点

あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる

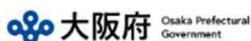


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「私のSDGs宣言プロジェクト」への参加のお願い

大阪府ホームページへの掲載に関するお願い



令和6年度の取組み

大阪府では、様々なステークホルダーにSDGsを広く知っていただく活動として、大学や各種団体・企業等と連携した講演やワークショップ、イベント等を実施しています。

講義・セミナー等

	開催日時・場所・相手方	配布資料等
大阪公立大学 「地域金融論」講義	日時：令和7年1月20日（月曜日） 10時45分から12時15分まで 相手方：大阪公立大学南学部 	大阪府の現状と取組みについて 大阪府の現状と取組みについて（PPT：3.689KB） 大阪府の現状と取組みについて（PDF：1.820KB）
大阪成蹊短期大学講義	日時：令和6年9月24日（火曜日） 16時50分から18時20分まで 相手方：大阪成蹊短期大学学生 	SDGsの推進に向けた大阪府の取組みについて SDGsの推進に向けた大阪府の取組みについて（PPT：5.684KB） SDGsの推進に向けた大阪府の取組みについて（PDF：3.858KB）
リコージャパン株式会社 「2024年度 第4期 リコーin大阪」研究会	日時：令和6年6月14日（金曜日） 13時30分から17時00分まで 相手方：大阪府内に拠点のある企業 	大阪府におけるSDGsの取組について 大阪府におけるSDGsの取組について（PPT：7.001KB） 大阪府におけるSDGsの取組について（PDF：1.093KB）

本日の授業を掲載いたします。

学生・園児の皆さんから宣言いただきました！

近畿大学 国際学部

近畿大学国際学部の皆さんから「私のSDGs宣言」をいただきました。



近畿大学国際学部（PDF：129KB）

大阪成蹊短期大学

大阪成蹊短期大学の皆さんから「私のSDGs宣言」をいただきました。



大阪成蹊短期大学
OSAKA SEIKI COLLEGE

大阪成蹊短期大学（令和5年度）（PDF：381KB）

大阪成蹊短期大学（令和6年度）（PDF：348KB）

大阪公立大学経済学部 小川ゼミ

大阪公立大学 経済学部 小川ゼミの皆さんから「私のSDGs宣言」をいただきました。



大阪公立大学

大阪公立大学経済学部小川ゼミ（PDF

大阪公立大学大学院看護学研究科 助産師資格取得プログラム 助産学特論C

大阪公立大学大学院看護学研究科助産師資格取得プログラム 助産学特論Cの受講生の皆さんから「私のSDGs宣言」をいただきました。



大阪公立大学

大阪公立大学大学院看護学研究科助産師資格取得プログラム 助産学特論C（PDF：30KB）

こちらに皆様から頂戴した宣言を掲載致します。

ご清聴ありがとうございました！

大阪府 SDGs 

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 連携課

TEL : 06 - 6944 - 6118

Mail : osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp